

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若年者及び就職氷河期世代への職業能力開発プログラム
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人ジョイフル 0263-51-9088
事業区分	産業振興・雇用拡大に関する事業 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,531,324 円 (うち支援金: 1,953,000 円)

事業内容

引きこもりや就職氷河期世代で、職業能力開発の機会に恵まれて来なかった方々に対し、パソコンを学ぶ事をステップとして、就職活動に生かしていく。

本事業は、パソコンスキルの向上だけではなく、その後の就活をサポートする機関や事業との連携・誘導を行い、希望する進路に向けてサポートも行う。

講座内容は、パソコンの使用法編/エクセル・ワード・パワーポイントの使い方編/ワードやエクセルの応用編/資格取得の受験対策 といった内容を実施
資格の受験は任意で受験してもらった。

講師を増員し少人数にて実施、席の配置や実施時間等の配慮により、より参加しやすい効果的な講座を実施



【PC 講座の様子】

【目標・ねらい】

- ① 受講者の状態の変化
- ② 就労支援機関へのつながり
- ③ 受講者の社会参画
- ④ 地域へのアピール

※自己評価 【A】

【理由】

受講者の頑張りによるところが大きかったですが、参加者が自発的に次のステップへ進むことが出来、就職や職業訓練・就活に結びつくことが出来、家居や無業の状態から脱することが出来た

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 全ての参加者が、受講前と受講後に比べると、活動量や就労等の状態が改善されました。
- ② 全員が就労支援機関につながる事ができました。
- ③ 受講人数のべ 37 人 就労者 11 人・職業訓練受講者 6 人 求職・応募中 16 人 (R4.3.18 現在)
- ④ パソコン等のチラシの配布や新聞の無料掲載欄への掲載を通じて、地域へのアピールが出来ました。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

就職氷河期世代や引きこもりの方々が、就労する際にパソコンの使用経験が無い事で応募できる機会を逃したり、資格が無い事で次に進めない人達が多くいる事から、パソコン講座が効果的であることが分かりました。今後も継続して実施を考えていますが、セミナー形式はコロナウィルスのまん延状況に左右されてしまったため、来年度は動画を撮影してそれを受講するような形式も活用し、個別又は在宅にて学ぶ環境を整えられるよう、学べる環境の充実を図っていきたいと思っています。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある